

令和4年度第3回本別警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和5年2月24日（金）午後1時30分から午後2時30分まで

2 開催場所

本別警察署会議室

3 出席者

(1) 協議会 5人（定員6人）

会長 田西喜代
副会長 池田靖
委員 伊藤貴之
委員 朝日薫
委員 小林雅子

(2) 警察署 6人

署長 寺江章
副署長 松岡貞行
刑事・生活安全課長 片桐秀樹
地域・交通課長 佐藤理宇
警務係長
生活安全係長

4 会議概要

(1) 会長挨拶

(2) 本別警察署長挨拶

(3) 業務推進状況等説明

- ア 刑事・生活安全関係
- イ 地域・交通関係

(4) 諮問事項

犯罪抑止対策

(5) 意見交換

【委員】

本別警察署の「ほくとくん防犯メール」の登録者数について伺いたい。

【警察回答】

約1,400名の方が登録している。

【委員】

ほくとくん防犯メールを含めた防犯情報発信ツールに関する広報はどのように行っているのか伺いたい。

【警察回答】

各種街頭啓発時にチラシを配布するなどの方法で広報を実施している。

【委員】

特殊詐欺を含めた各種犯罪被害防止について、地域住民を対象とした講話を開催し注意喚起がなされているが、全ての住民に対する情報の浸透という点で課題があると考えているがいかがか。

【警察回答】

町内会や老人クラブ等を中心に防犯講話を開催しているが、これらコミュニテ

ィに属していない方に対する周知が課題であると考えている。

防犯講話開催時には、参加者の方に家族、友人、隣人等に対する注意喚起を依頼するなど広く情報が周知されるよう配慮しているほか、巡回連絡の機会に個別に注意喚起を行う等の啓発も行っている。

今後これら活動を積み重ねていくとともに、あらゆる機会を通じて地域住民に対する情報発信を行っていく所存である。

【委員】

過去に、一部の報道で十勝管内住民の防犯意識は依然低いという趣旨の報道がなされている。

警察には、引き続き住民の防犯意識向上に向けた活動を推進してもらいたい。

【警察回答】

今後の業務推進の参考とさせていただきます。

【委員】

先般、足寄交番員と共同で啓発活動を実施し、多くの啓発グッズを配布したが、事前に啓発グッズの内容に関する説明をいただければ、啓発活動に参加する我々からもより効果的に地域住民に対する情報発信を行うことができたと感じたので、今後の参考としていただきたい。

【警察回答】

今後の業務推進の参考とさせていただきます。

【委員】

ほくとくん防犯メールは、道内各地の犯罪発生情報等がタイムリーに発信されており、防犯意識の喚起に非常に効果的であると感じている。

また、高校生等を対象とした護身術訓練についても、非常に良い取り組みである。

【委員】

特殊詐欺等の犯行グループが、どのようにして被害者の資産情報を把握しているのか教えて欲しい。

【警察回答】

一例として、高額納税者を記した名簿が転売・流出しており、これら名簿が悪用されているケースがある。

(6) その他要望・意見

【委員】

防犯情報発信ツールや護身術訓練に関する広報の場として、高齢者福祉施設等での情報発信も効果的であると思うので、実施していただきたい。

【警察回答】

今後の業務推進の参考とさせていただきます。